

平成27年度 あきたスマートカレッジ (報告)

F : 日常生活に役立つアラカルト vol.2

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室ほか

【趣旨】社会の耳目を集める話題にスポットを当てて、専門家の解説から正しい知識や活用例を知ることができる講座です。

回	期 日	テーマ	講 師	参加者数
1	5月9日 (土)	【法学】裁判員を断ると10万円以下の過料の可能性もあります ～刑事訴訟と裁判員制度の仕組み～	ノースアジア大学法学部 准教授 秋山栄一氏	17
2	8月8日 (土)	【経済】日々の暮らしに知っておきたい経済学 ～金融学に触れましょう～	ノースアジア大学経済学部 講師 山本俊氏	42
3	6月6日 (土)	【火山・地質】秋田の火山を正しく知る ～御嶽山噴火に学ぶ～	秋田大学国際資源学部 教授 大場司氏	48
4	6月20日 (土)	【発達心理】子どもの心 ～発達心理学からのアプローチ～	秋田大学教育文化学部 准教授 山名裕子氏	20
5	7月4日 (土)	【医学】知っておきたい再生医学の現在 ^{いま}	秋田大学大学院医学系研究科 教授 久場敬司氏	33
6	7月18日 (土)	【環境】地域にある未利用資源を活かすために ～循環型社会の背景・展望・課題～	秋田県立大学生物資源科学部 教授 日高伸氏	19
7	8月1日 (土)	【外国語】英語は日常生活において欠かせないもの?! ～英語の必要性について考えてみましょう～	国際教養大学国際教養学部 助教 遠藤秀弘氏	16
8	8月22日 (土)	【芸術】生きることと表現すること ～やきものとアール・ブリュットをめぐるお話～	秋田公立美術大学美術学部 助教 安藤郁子氏	13
合計				208名

2回目の講座が、諸般の事情により5月開催予定から開催期日が変更になりました。様々な分野について学ぶ「日常生活に役立つアラカルト」は、学んだことが「必ずいつか役に立つ」というものではないかもしれませんが、「学ぶことの意義」を感じさせる講座となりました。ここでは7回目の講座について報告します。

「日本語の表記の仕方はいくつあるでしょう。昔ならば3つと言えたでしょうが、現代は4つです。ひらがな、カタカナ、漢字、そして4番目が日常語化した英語です。4番目に入り込んだことで、英語は大事になってきています」「雑誌や音楽CDのタイトル、クリアランスセールといった広告など、ごく自然に英語が使われ、日常語として身近なものとなっています」「英語は様々な理由から国際共通語になっています。世界レベルで見れば、英語を母国語としない人々の方が多数派です。英語を母国語としない人々同士でも、国際共通語である英語でコミュニケーションをとることができるのです」との講師の言葉はとても印象的でした。英語での自己紹介ゲームを通じて、「テキスト通りでもいいからともかく話し、聞き、使い、体験してみる。理解は後からついてくる」そんなことを考えさせられました。

